

---

2012(平成 24)年度 事業計画書

学校法人 池坊学園

---

## 2011年度 (学)池坊学園・事業計画書

2012年4月1日から2013年3月31日まで

学校法人池坊学園

主たる事務所(京都) 京都市下京区室町通四条下る鶏鉾町491番地

主たる事務所(東京) 東京都千代田区神田駿河台二丁目3番地12

### 1 法人の概要と計画

#### (1) 法人の沿革

1951年	池坊華道会全国支部長会議で池坊学園設立案可決(設立委員長 山本忠男)
1952年	学校法人池坊学園、池坊学園短期大学(以下、「短大」という)設置認可(3月5日)
	短大開学(4月1日)。第1回入学者は国文科、服飾科 計43名
	短大学生会発足
	池坊学園実践学院開学(10月から夜間部開設)
1954年	短大卒業者のための華道研究科を付設(1967年、研修科に改称)
	短大同窓会発足
1956年	和心館竣工
1957年	池坊学園図書館で華道文献目録編纂
1958年	木造本館校舎の大半を焼失、四条門開門
1959年	洗心館竣工
1960年	池坊学園お茶の水学院開学
1962年	短大國文科に文芸と教職の選択コース制。服飾科を生活科学科に改称し、
	服飾・家政・教職の3選択コース制
1966年	「池坊学園短期大学」を「池坊短期大学」に改称。本館竣工
	池坊学園実践学院を池坊文化学院(以下「文化学院」という)に改称し、昼間部開設
	池坊学園お茶の水学院を池坊お茶の水学院(以下「お茶の水学院」という)に改称
1969年	池坊短期大学生活科学科を家政科に改称
	元池坊学園総理事山本忠男死去
1972年	短大付設の研修科は文化学院へ編入
1977年	学園創立25周年を記念し、隣接土地・建物を購入、美心館と命名
1980年	短大の一般教育科目中の総合科目として、「華道と現代生活」が正課に認可
1985年	短大の国文・家政両科の選択コース廃止
1987年	一般教育科目に情報科学開講、パソコン設置
1990年	和心館4教室に、AV教育システム設置
1991年	一般教育科目の分野区分を廃止し、共通科目として名称変更

	池坊学園学舎改築基本計画策定
1993年	科目等履修生制度設置
	短大の共通科目中の総合科目として、「茶道と伝統文化」が正課に認可
1994年	京都・大学センター（現・大学コンソーシアム京都）発足、加入。単位互換協定に参加
1995年	学舎改築第1期棟「美心館」竣工（旧美心館の地）
1997年	学舎改築第2期棟「洗心館」竣工（旧洗心館）
	短大国文科を日本語日本文化学科に、家政科を生活文化学科に改称
	池坊文化学院（各種学校）が専修学校として設置
1998年	博物館学課程設置
1999年	学舎改築第3期棟「和心館」竣工
	和心館に池坊短期大学むろまち美術館・体育館を設置
2000年	短大日本語日本文化学科を文化芸術学科に、生活文化学科を環境文化学科に改組転換
2001年	華道文化コース設置
2004年	ビューティアートコース設置
2005年	ファッションコーディネートコース設置
	中庭「コートるり」を整備
2007年	華道文化研究所を池坊短期大学付設機関に移設
	池坊短期大学むろまち美術館をむろまちアートコートに改称
2008年	製菓衛生師養成施設設置認可（製菓クリエイトコース設置）
	フラワーマネジメントコース、ブライダルプランナーコース設置
2009年	エステティシャンコース設置
2010年	医療クラークコース、フードビジネスコース設置
	池坊文化学院正科生募集停止
2011年	フードビジネスコース、ビューティアートコース募集停止
	メイクアドバイザーコース、トータルビューティーコース設置

## (2) 設置学校の学科・コース編成

### ①池坊短期大学

文化芸術学科（入学定員 75名、収容定員 150名）

華道文化コース

フラワーマネジメントコース

ブライダルプランナーコース

医療クラークコース

環境文化学科（入学定員 200名、収容定員 400名）

ファッションコーディネートコース

製菓クリエイトコース

ビューティアートコース

メイクアドバイザーコース  
トータルビューティーカーコース  
エステティシャンコース

②池坊お茶の水学院

華道・文化芸術学科（1年）

基礎コース（入学定員 40名、収容定員 40名）

研究コース（入学定員 40名、収容定員 40名）

フラワービジネス・アート学科（2年）

ビジネスコース（入学定員 60名、収容定員 120名）

アートコース（入学定員 40名、収容定員 80名）

別科

総合文化学科（土曜日）（1年）（入学定員 30名、収容定員 30名）

華道茶道専修学科（土曜日）（1年）（入学定員 30名、収容定員 30名）

（3）役員・役職者（2012年4月1日現在）

理事 8名（定員 7名以上10名以内）

監事 2名（定員 2名）

評議員 23名（定員19名以上26名以内）

学校法人池坊学園 理事長 岡 稔晴

池坊短期大学 学長代行 岡 稔晴

池坊お茶の水学院 学院長 戸内 敏

（4）人事・組織（2012年4月1日現在）学園組織図は別表1の通りである。

法人職員 5名

短期大学教員 文化芸術学科10名、環境文化学科7名 計17名

短期大学職員 20名（アルバイト2名を含む）

お茶の水学院職員 5名（アルバイト2名を含む）

（5）池坊短期大学学年暦

別表2の通りである。

2 事業内容

（1）大学運営改革構想（将来構想計画）について

社会福祉法人の設立準備、ならびに認可保育園（池坊華保育園（仮称））設置～幼児教育学科設置構想について検討をすすめる。

〈設立趣旨（抜粋）〉

いつの時代にも子どもは社会の宝です。大切に育まれることは次代を担う子どもの基本的人権であり、子どもを育むためにあらゆる努力を払うことは、親の義務であり権利です。同時に、日本国憲法と児童福祉法に代表されるように、子どもが健全に成

長できるための施策を行うことは国にとっても責務です。

子どもがヒトから人間へと育つ上で、0才～6才の就学前の時期は人間の土台を育てる大切な時期です。また、グローバル化が進展する中で、子どもが国際社会の中で日本人としての自覚や素養を持ち、主体的に生きていくためには、我が国の伝統文化に対する理解や親しみを深めることが重要である。この土台や要素を育てるにあたり、伝統文化が、「人々をつなぐ役割」、「地域の子ども達を育む役割」を担っており、それが、地域の子ども達に愛着を持つきっかけにもなるからであると考えます。

子ども達が伝統文化に触れられるような環境を整えることで、子ども達は地域の文化に誇りを持つようになり、楽しさや自信も生まれてくる。この伝統文化との触れ合いが「子どもの成長」、ひいては今後の担い手の育成につながっている。そしてそれは、伝統文化の担い手の育成だけでなく、地域の担い手育成にもつながっていく。地域の特色である伝統文化を残していくことが、地域社会の持続的維持・存続にもつながっていると考える。

## **(2) 大学経営ガバナンスについて**

学園財政の健全化のために意思決定を迅速にすすめる経営ガバナンスと教授会を中心とする教学ガバナンスの相互の役割の明確化をおこない、常に連携強化をはかりながら全学一丸となって、本学の長をさらに伸ばし、魅力ある学園づくりをおこなっていく。

## **(3) 教学改革について**

魅力ある学校づくり、短期大学士教育のさらなる充実を図るため、適正規模の学校運営、教育の質保証を中心として、全学における教学プログラム化を推進し、コース・科目の教育体系、履修モデルチャートの策定を行う。なお、教育情報の公開等ステークホルダーへの説明責任を果たせる施策等、以下の内容を中心に検討する。

- ①学則定員の変更とカリキュラム改革について
- ②教育の質保証について
- ③総合教育研究支援体制の確立

## **(4) エンロールメントマネジメント（入口～出口まで）の確立について**

「入学前教育～教育学生支援～進路（就職・編入学）の確保・支援」について全学の一貫した学生データ管理、ならびに、きめ細やかな指導を徹底する。

## **(5) 業務改善について**

F D、S D活動を継続実施する。F D活動においては、過去の教育学生支援活動の見直しと教員の資質向上を中心に、また、S Dにおいても、職員の業務企画力・提案力向上を目的とした職員研修等を行う。

## **(6) 創立60周年記念事業の実施について**

2012年度に迎える創立60周年記念事業として、創立記念日に記念講演、パーティー等の実施を計画・準備する。

### **(7) 外部資金獲得のための諸方策について**

科学研究費、ならびに受託研究費の獲得をめざし、本学の教育研究活動と社会のつながりを一層強める施策を検討する。

### **(8) 留学生の確保について**

広く日本文化を学びたい世界の学生に対して、本学の特長を活かしたプログラムの策定を検討することも含めて、外国人留学生に積極的な情報提供を行い、志願者増につなげていく。

### **(11) エクステンション事業の充実について**

現在、実施している基金訓練、貸出および課外講座の充実を図り、より一層学園の社会との関わりを深めつつ、収益増をめざす。

### **(12) 監査法人について**

監査法人からの本学の財務状況に対する意見、助言も参考にしつつ、今後も継続して本学の経営健全化に邁進する政策を検討、策定する。

### **(13) 人事組織計画と経営五カ年計画、および予算等会計管理について**

#### **①人事組織計画について**

- ・適材適所の人員配置、女性管理職の登用の検討を行う。

#### **②経営五か年計画について**

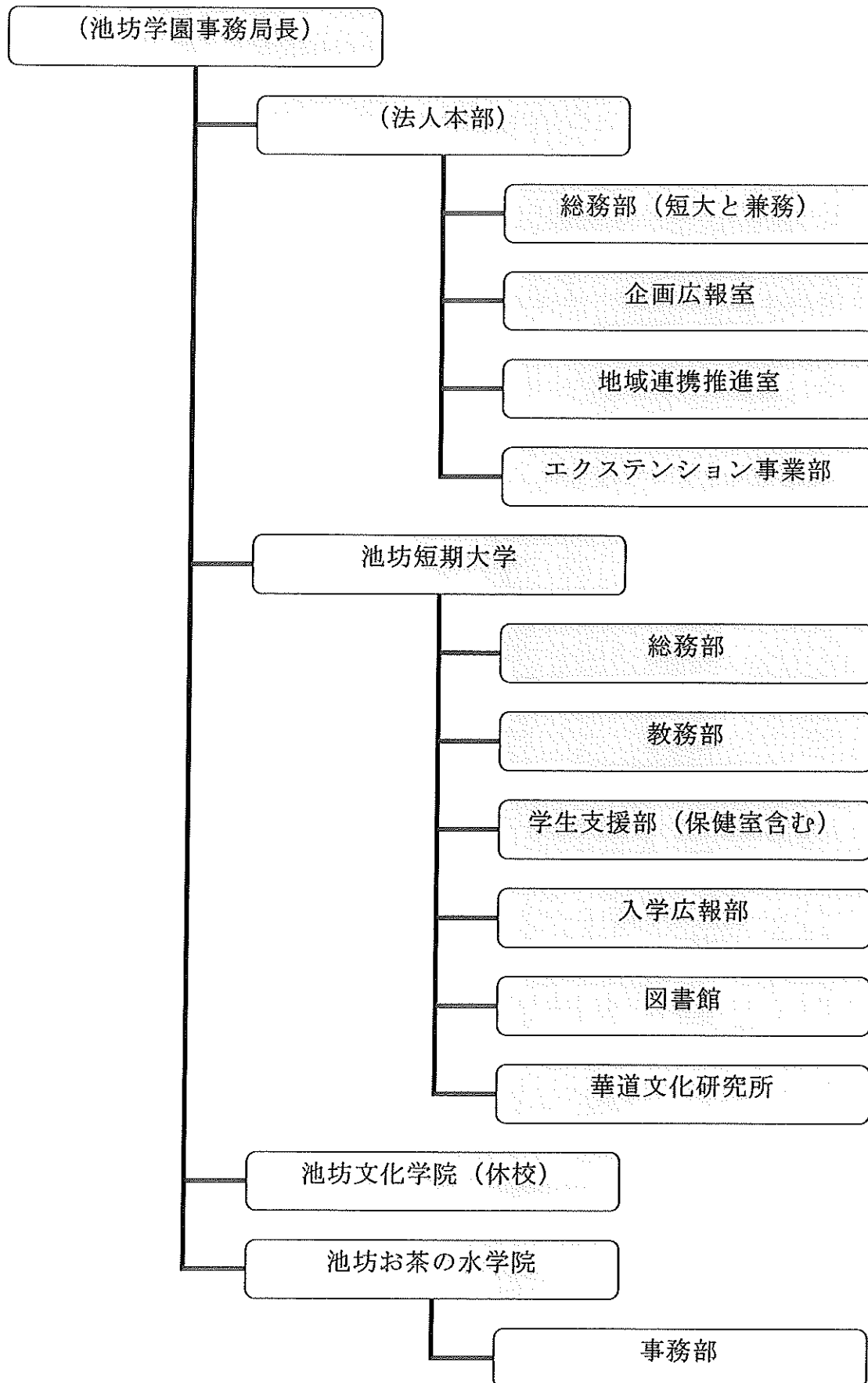
- ・定員充足に関わる学科・コース編成等の検討をすすめる。
- ・3～5年における2号基本金の組み入れを行う。

#### **③会計管理について**

- ・固定管理費のより一層の適正化をはかる。
- ・学生授業充実のための予算化と無駄の削減を行う。
- ・教育研究助成に係る競争的原理を導入する。

以上

別表 1



別表 2

2012年度 池坊短期大学「学年暦」

前期 行事予定	後期 行事予定
4 / 1 (日) 2012年度開始	9 / 21 (金) 後期 授業開始(仮受講期間～9/27)
2 (月) 第61回入学式	22 (土) 秋分の日(平常授業)
3 (火) 新入生オリエンテーション	大学コンソーシアム科目授業開始
4 (水) 履修登録	27 (木) 後期 履修登録変更 締切日
5 (木) 学生生活(健康診断含む)	10 / 8 (月) 体育の日(平常授業)
6 (金) 4/6(金)フレッシュマンキャンプ	11 / 3 (土) 文化の日(平常授業)
9 (月) 前期 授業開始(仮受講期間～4/14)	16 (金) 準備(休講)
14 (土) 前期 履修登録締切日	17 (土) 大学祭 展示(休講)・創立記念日(60周年)
21 (土) 大学コンソーシアム科目授業開始	18 (日) 展示・片付け(休講)・大学コンソーシアム科目休講
30 (月) 昭和の日・振替休日(平常授業)	19 (月) 休講
5 / 2 (水) 休講	23 (金) 勤労感謝の日(平常授業)
3 (木) 憲法記念日(休日)	12 / 11 (火) 後期 単位認定試験 時間割発表
4 (金) みどりの日(休日)	22 (土) 大学コンソーシアム科目授業終了
5 (土) こどもの日(休日)	24 (月) 天皇誕生日・振替休日(平常授業) / 授業終了
7 / 9 (月) 前期 単位認定試験 時間割発表	25 (火) 冬期休暇開始(→1/6)
12 (木) 祇園祭・鈴曳き初め(1年次生のみ全員参加) ※1年次生:午後休講(振替授業は前期補講時に)	1 / 1 (火) 元旦(休日)
15 (日) 祇園祭「花きらきら」(通常授業は休講)	6 (日) 冬期休暇終了
16 (月) ※特別授業は全学生参加(詳細は6月配布)	7 (月) 授業再開
17 (火) 休講	9 (水) 大学コンソーシアム科目授業再開
28 (土) 前期 授業終了 / 大学コンソーシアム科目前期授業終了	14 (月) 成人の日(休日)
30 (月) 補講日	19 (土) 大学コンソーシアム科目後期授業終了
31 (火) 補講日	21 (月) 後期 授業終了
8 / 1 (水) 前期単位認定試験	22 (火) 補講日
↓ 8/1(水)レポート試験提出締切日	23 (水) 後期単位認定試験
7 (火) 8/4(土)大学コンソーシアム科目試験	↓ 1/23(水)レポート試験提出締切日
8 (水) 夏期休暇開始(→9/19)	1/28(土)大学コンソーシアム科目試験
9 (木) 前期 追試験 申請締切日	29 (火) 準備
22 (水) 前期 単位認定試験 不合格者発表	2 / 1 (金) 卒業展 展示
23 (木) 前期 再試験 申請締切日	2 (土) 展示
27 (月) 前期 追・再試験時間割 発表	3 (日) 展示
29 (水) 前期 追・再試験	4 (月) 後期 追試験 申請締切日
30 (木) 前期 追・再試験	8 (金) 後期 単位認定試験 不合格者発表
31 (金) 前期 追・再試験	11 (月) 建国記念の日(休日)
9 / 3 (月) 夏期集中講義	13 (水) 後期 再試験 申請締切日
↓ 「日本文化における花・茶・香」	15 (金) 後期 追・再試験時間割 発表
7 (金) 「フラワービジネス論」	18 (月) 後期 追・再試験
1 (土) 夏期集中講義	19 (火) 後期 追・再試験
↓ 「国際文化交流」	20 (水) 卒業認定者発表
15 (土) 「国際文化交流」	3 / 8 (金) 卒業認定者発表
17 (月) 敬老の日(休日)	19 (火) 第60回卒業式
19 (水) 夏期休暇終了	20 (水) 春分の日(休日)
20 (木) 前期 成績発表(1年次10:00、2年次13:00)	25 (月) 後期 成績発表(新2年次生 10:00)
前期補講は、7月30日(月)、31日(火)、および土曜日とする。	26 (火) 新2年次生
	↓ オリエンテーション・履修登録
	29 (金) 2012年度終了
	31 (日) 2012年度終了
	後期補講は、1月22日(火)、および土曜日とする。

[事業計画書に関する問い合わせ先]

学校法人池坊学園 企画広報室

〒600-8494

京都市下京区室町通四条下る鶏鉾町

491番地

電話：075-351-8581

E-mail: admis@ikenobo-c.ac.jp